

薄型DLPプロジェクタ“ LVP - 60XT20 ”の市場展開

鳴海 真*
岩永敏弥*

Market Development Situation of Ultra-Thin DLP Rear Projector “ LVP - 60XT20 ”

Makoto Narumi, Toshiya Iwanaga

要 旨

業務用表示装置の市場でのフラットパネルディスプレイ (FPD) は拡大の傾向があるが、三菱電機独自の光学系技術を駆使した薄型DLP^(注1)リアプロジェクタ“ LVP - 60XT20 ”は、そのFPDにない特長(“ 焼き付き ” のないDLPの安定した画質とリアプロジェクタ世界トップクラスの薄さ(奥行き26cm)の実現、高コントラスト・高再現性による高画質、マルチビジョン構成による単面59V型以上の大画面表示が可能、16：9の横長画面でなく、パソコンの映像表示を前提としたアスペクト比4：3の実現、等により従来の大型表示装置では実現できなかった新

しい市場の開拓を目指し、2002年12月に国内で販売を開始した。

本稿では、その特長と発売に際して目指したターゲットの市場について述べる。また、2002年12月発売以降の国内での実際の納入状況を併せて紹介し、ユーザーの購入のポイント及びこの機種による新しいニーズ・需要の状況について述べる。

(注1) DLR Digital Light Processing) は、米国Texas Instruments社の登録商標である。



東京急行電鉄(株) 東横線横浜駅発車案内

薄型DLPリアプロジェクタLVP - 60XT20型の横3面で列車の発着案内、路線図(みなとみらい線を含む)、横浜駅の次駅等を示す。東横線横浜駅の中央北口、中央南口、北口の3か所に設置されている。

*京都製作所